



おやつうしん



岐阜市子ども・若者総合支援センター
エールぎふ 親子教室 (2歳児)
6月

トイレトレーニングを始めるのによい暖かい季節になりました。今回は、あわせて取り組んでいくとよいズボンの着脱について、親子で取り組めるポイントを入れてお伝えしていきます。

ズボンの着脱をする時は、安定した姿勢とズボンを手で引っ張り、同時に足を伸ばす協調動作が必要になります。また、ズボンをしっかり握るために手のひらで体重を支えたり、強くにぎったり、そっとにぎったりする動作の経験が必要になります。

子どもが「楽しい」「やってみよう」と思えるように、身近なものを使ったり、少し遊びの要素を取り入れたりして、親子で楽しみながら取り組んでみてはいかがでしょうか。

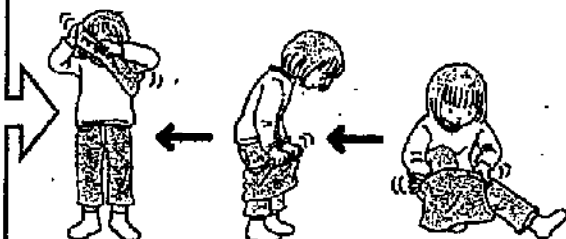
遊びながら、ズボンをはくための動きを身に付けてみよう

ステップ1 ⇒ 布を手でつかんで、ズボンを上に引っ張ってみよう。

☆大人用の腹巻を使います。

♪いもむしトンネルごっこ♪

- ①「によきによき、くねくね、もぞもぞ」と音をつけながら身体を通していきます。
- ②顔を通るときに、「いないいないばあ。」と言ったり、「やった！！」と顔を出したときに、言ってみると楽しくなると思います。はらまきを頭から脱ぐ動きは、上着の着脱にもつながります。



ステップ2 ⇒ 全身のバランスをとり、片足をあげて通してみよう。

☆新聞紙などで輪っかをつくりまます。

♪忍者わっか通し修行ごっこ♪



- ①座りながら忍者になった気分「そろーり、そろーり」とゆっくり足を通します。
- ②膝まで倒れずに通せたら「かっこいい忍者です！」子どものやる気を引き出して、反対の足も通してみましよう。意外と利き足はスムーズ。でも、反対の足は難しいですよ。慣れてきたら、立って通すこともチャレンジしてみましよう。

ステップ3 ⇒ 大人の膝の上に座って、はいてみよう。

☆ズボンのはき方

- ①大人は子どもの手を添え、一緒にウエストのゴムを持ちます。そうすると、ズボンをはくことに意識が向きます。
- ②片足ずつ足を入れます。
- ③立ち上がり、一緒にズボンを引き上げます。

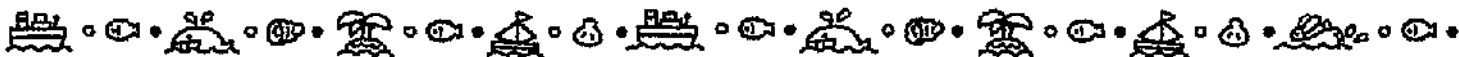
※ズボンは、柔らかい素材で、ウエストがゴムの物を選ぼう！

ズボンをはくときに、おしりの部分がひっかり引き上げにくいので、手を後ろに回し、後ろにも意識がいくように、声をかけてみましよう。



トンネルから足が出てくるかな？

1・2の3



参考文献：『発達が気になる子の「できる」を増やすからだ遊び』 佐田 哲 監修 (小学館)

『生活の自立Hand Book』 谷田貝 公昭 監修 (学研)